

参考図

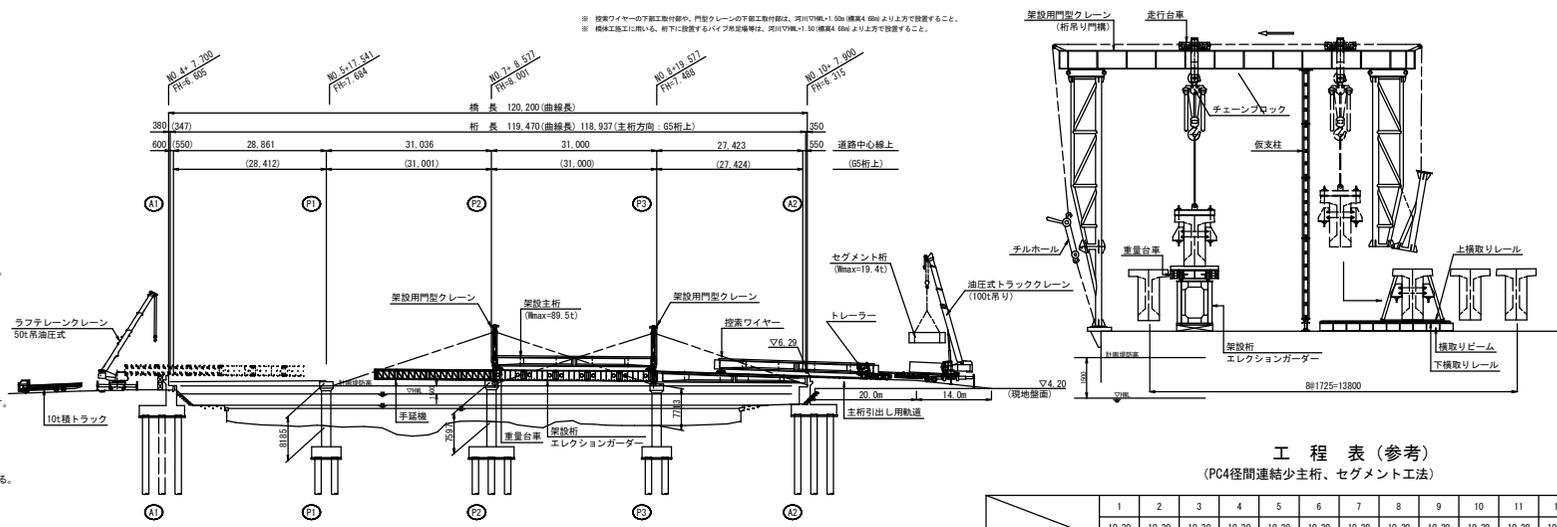
工事年度	平成 6 年度	起工	第1397-001号	工区
工事名	県道東芳戸屋線 西沢園橋 橋梁上部工事			
路線名	直方戸屋	所在地	西沢園 橋	
工事箇所	通算	戸屋	西沢園町 高浜町 地内	
図面名	架設参考図			
縮尺	図示	図面番号	全 1 葉之内 1 号	
事務所名	福岡県北九州県土整備事務所			
認可	当	初	当	初
可	第	回	第	回

架設参考図

(別図2)

側面図 S=1:500

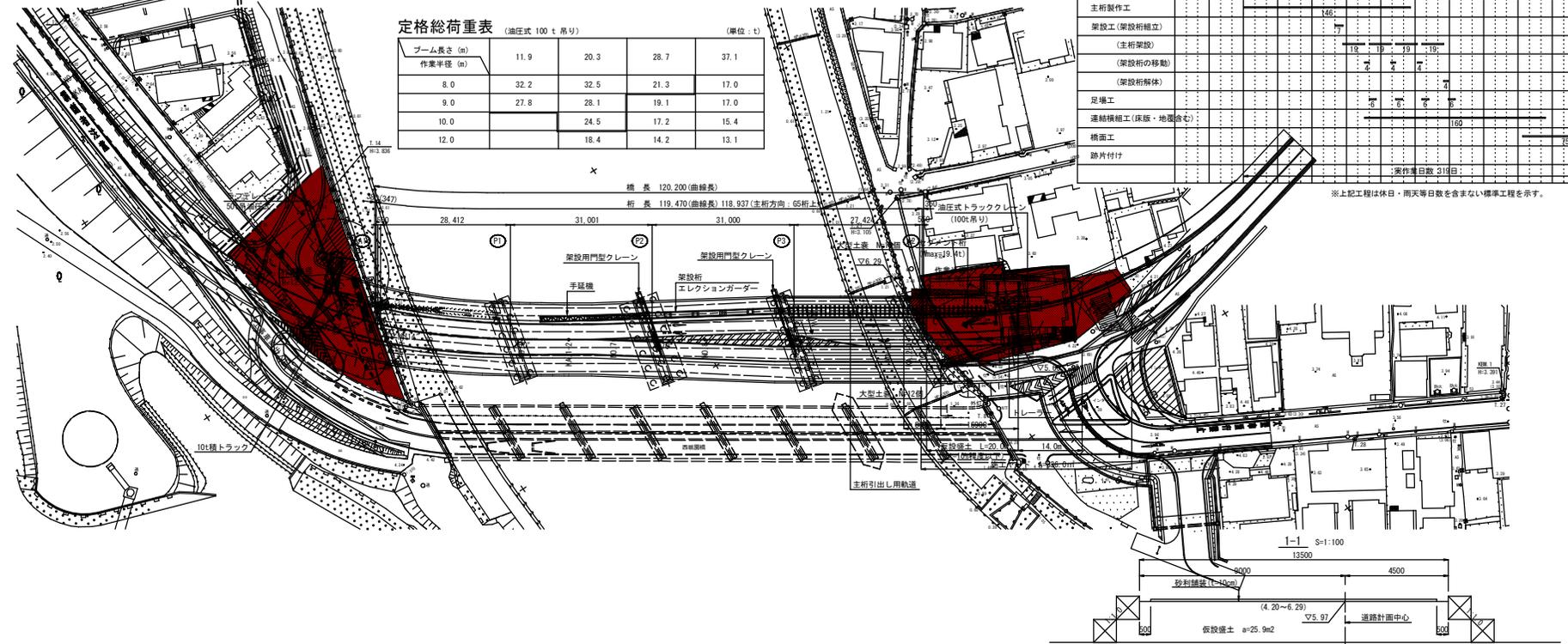
断面図 S=1:100



架設要領

- 工場で製作されたプレキャストセグメント桁をトレーラにて現地に搬入する。
 - 現地に搬入されたプレキャストセグメント桁は、軌条に吊上げ階段、ガーダー上に引き出す。
 - 主桁1本当りセグメントブロックは、5分割で構成される。
 - ガーダ上ではセグメントブロックを調整、接着剤塗布、PCケーブル挿入、緊張の各作業を行う。
 - セグメントブロックは合計180個現地に搬入される。(1区間当り主桁9本架設)
- (架設準備、架設、解体)
- A2橋台背面に桁引出し軌条を敷設する。
 - A2橋台背面の軌条上で、トラククレーンを使用し手延べを組み立てる。
 - エレクションガーダー組立てながら順次手延べ、送り出しローラーを使用しP3-A2区間へ送り出す。(門構建て込み後所定の位置へ据えつける。)
 - P3橋脚上に門構を組み立てて控索をとる。
 - 搬入されたPC桁を台車に載せ、ウィンチにてエレクションガーダー上で順次引き出す。
 - 所定の位置迄引き出された桁を1本化し、門型クレーンにて吊り上げ所定の位置に据え付ける。
 - エレクションガーダーを次の区間へ移動し、P2橋脚上に門構を組み立てて控索をとる。
 - (3)~(7)の工程を繰り返す。
 - 架設完了後、エレクションガーダー、門構をA2橋台背面まで移動撤去する。

平面図 S=1:500



定格総荷重表 (油圧式 100 t 吊り) (単位: t)

ブーム長さ (m)	11.9	20.3	28.7	37.1
作業半径 (m)	8.0	32.2	32.5	21.3
	9.0	27.8	28.1	19.1
	10.0		24.5	17.2
	12.0		18.4	14.2

工程表 (参考)
(PC4径間連結少主桁、セグメント工法)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
準備工	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20
支保工	60													
主桁製作工	38													
架設工 (架設桁組立)	146													
(主桁架設)	7													
(架設桁の移動)	18													
(架設桁解体)	7													
足場工	6													
連結橋組工 (床版・地固含む)	100													
構面工	5													
路片付け	30													

※上記工程は休日・雨天等日数を含まない標準工程を示す。